

報道関係者各位

田辺市たなべ営業室  
室長 松本 清子

## 甲斐みのりさん監修 田辺の魅力を伝えるガイドブック 『朝・昼・夕・夜 田辺めぐり』の発行について

田辺市では、平成 26 年 4 月より「たなべ営業室」を設置し、世界遺産を中心とした観光資源や自然、地域、紀州梅などの特産品等々、本市ならではの魅力を市内外に精一杯伝え、「全国から“選択”される田辺市」に取り組んでいるところです。

さてこの度、平成 29 年度田辺市シティプロモーション事業の一環として取り組んでおりました、甲斐みのりさん監修：田辺の魅力を伝えるガイドブック『朝・昼・夕・夜 田辺めぐり』が完成し、下記のとおりガイドブックを発行（無料配布）いたしますので、報道方よろしくお願ひいたします。

### 【今回のガイドブック発行のポイント】

- ・本市における日本人宿泊者数は比較的堅調に推移しているものの、外国人宿泊者数の伸び率と比較した場合、更なる魅力発信や多方面からの新たなアプローチによる手だてを講じ、来訪者増加につなげる必要があります。そのため今回、情報感度が高く、旅行や買い物をはじめとした行動意欲の高い[女性層]をメインターゲットにしたガイドブックを発行することとしました。
- ・本市が有する世界遺産「熊野古道」の認知度・関心度は高く、加えて今回、闘雞神社が新たに追加登録されたこと、南方熊楠翁生誕 150 周年を迎えたことなどを踏まえつつ、熊野古道への来訪には口熊野（紀伊田辺駅）からの『中辺路ルート』が最も人気であることを伝えながら、同時に田辺市街地の魅力を丁寧に伝えることで、【熊野古道+街なかめぐり】という具体的な田辺市への誘客等につなげます。
- ・平成 25 年度に田辺観光協会が発行した、甲斐みのりさん監修・制作の『暮らすように旅する田辺』が多くの反響を呼んだことから、今回のガイドブック制作についても甲斐みのりさんに依頼しました。
- ・（私たち住民では普段気付かない）田辺の何気ない日常の風景、喫茶店や雑貨店、菓子店などの各種店舗や味光路などを甲斐さん独自の視点で切り取り、「朝・昼・夕・夜」のテーマごとに丁寧に紹介しています。
- ・都会や他の観光地にはない、田辺ならではの街なかの魅力を伝える冊子となっています。

田辺市企画部たなべ営業室

担当：大久保

TEL：0739-33-7714（直通）FAX：0739-22-5310

甲斐みのりさん監修 田辺の魅力を伝えるガイドブック

## 『朝・昼・夕・夜 田辺めぐり』

- 名称 『朝・昼・夕・夜 田辺めぐり』
- 仕様 B5判 48ページ + 表紙まわり4ページ
- 発行部数 10,000部

[文・監修] : 甲斐みのり  
[デザイン] : 漆原悠一 ・ 栗田茉奈 (tento)  
[イラスト (マップ)] : 大神慶子  
[写真] : 鍵岡龍門 ・ 吉次史成  
[制作] : 田辺市  
[協力] : 田辺観光協会  
: 熊野本宮観光協会  
: 田辺商工会議所  
: み熊野ネット



- 本ガイドブックは、田辺市役所（たなべ営業室）、田辺観光協会、田辺市観光センター、熊野古道館、世界遺産熊野本宮館、各行政局で希望者に無料配布いたします。（※但し、お一人1冊とします。）  
また、遠方の希望者には、送料（205円切手）をご負担いただければ郵送発送にも対応いたします。

### ⇒冊子郵送希望の方の問い合わせ先（連絡先）

- ① 〒646-8545 和歌山県田辺市新屋敷町1番地  
田辺市役所 たなべ営業室  
TEL : 0739-33-7714 (直通)  
E-mail : tanabe.eigyou@city.tanabe.lg.jp

または、

- ② 〒646-8545 和歌山県田辺市新屋敷町1番地  
田辺観光協会（田辺市役所 観光振興課内）  
TEL : 0739-26-9929 (直通)

## （発行にあたって）甲斐みのり氏 コメント

東京在住の私が、年に数回、定期的に田辺市へ通うようになり5年ほど経ちました。いつも、羽田空港から朝一番の飛行機で出発すると、田辺に午前中の早いうちに到着できます。そこから、町を歩き、昼ごはんを食べ、買い物をして、喫茶店で一休みする……。さらに夜も、味光路を中心に、おいしいものを味わえるお店を巡り、宿に戻るのには夜遅く。そしてまた、翌朝は早起きをして、澄んだ朝の光の中、鬮雞神社に参拝し、まちへ出て喫茶店でコーヒーを飲む……。田辺を訪れると、朝から夜まで、あれもこれもと、食欲に時間を過ごしてしまう自分に気がつきました。

平成25年に発行した田辺市観光案内冊子『暮らすように旅する田辺』に続き、2冊目の田辺市観光案内冊子を制作できることになったとき、まっさきにテーマにしたいと思ったのが、「田辺の朝と夜」。田辺は「早起きしたくなるまち」であると同時に、「夜を楽しみたいまち」でもあったからです。ところが、田辺の魅力は朝と夜だけでなく、昼にも夕方にもあります。そこで今回は、朝と夜だけでなく、昼も夕もとさらによくばり、「朝・昼・夕・夜 田辺めぐり」というタイトルをつけました。それに合わせて、表紙の写真は朝のイメージで「紀伊田辺駅」、裏表紙の写真は夜のイメージで、営業時間が夜だけの喫茶店「ビートル」のホットケーキを選びました。

前回の『暮らすように旅する田辺』は、昔から田辺のまちに根づく場所や店を中心に紹介しましたが、今回は、ここ数年で田辺にできた新しいお店も多く紹介しています。新旧の店が共存しているのも田辺の魅力の一つだと感じています。さらに、熊野本宮周辺も取り上げています。

巻末には、散歩マップも用意したので、冊子を手にも、田辺のまちを歩き、旅を楽しんでいただきたいです。日本各地の、旅、文化、歴史、聖地が好きな方が集まる書店・カフェ・施設などで配布して、たくさんの方に田辺を訪れて欲しいと願っています。

## 甲斐みのり氏 プロフィール



静岡県生まれ。文筆家。

旅や散歩、お菓子に手土産、クラシック建築やホテル、雑貨と暮らし。女性が好んだり憧れるモノやコトを主な題材に、書籍や雑誌に執筆。

「叙情あるものづくり」と「女性の永遠の憧れ」をテーマに雑貨の企画・イベントもおこなう。近著は『地元パン手帖』（グラフィック社）、『京都おやつ旅』（監修/PHP 研究所）など。

※ “田辺市への旅のしおり（パンフレット）”として、平成25年度に『暮らすように旅する田辺』を監修・制作（田辺観光協会発行）したところ多くの反響を呼び、今でも問い合わせが寄せられています。

